

THEOベスト・バランス・ファンド

運用報告書（全体版）

第5期（決算日 2026年2月2日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、「THEOベスト・バランス・ファンド」は、2026年2月2日に第5期の決算を行いました。
ここに作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2021年10月29日）	
運用方針	「THEOベスト・バランス・ファンド」は、マザーファンド受益証券へ投資を行います。以下はマザーファンドである「THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）」、「THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）」、「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）」の運用方針です。この投資信託は、主として世界の上場投資信託証券（ETF）への投資を通じて、グロース運用（株式中心）、インカム運用（債券中心）、インフレヘッジ運用（实物資産中心）を行う3つの投資信託に分散投資を行い、投資信託財産の長期的な成長を目指します。	
主要運用対象	ベビーファンド	「THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）」受益証券、「THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）」受益証券、「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）」受益証券を主要な投資対象とします。
	マザーファンド	世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	①上場投資信託証券（ETF）等への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ③「THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）」受益証券、「THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）」受益証券、「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）」受益証券への実質投資割合には制限を設けません。 ④一般社団法人投資協会規則に定める一者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。
	マザーファンド	①投資信託証券（ETF）等への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ③「THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）」受益証券、「THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）」受益証券、「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）」受益証券への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年1月31日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づき収益分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

<照会先>

電話番号：03-6629-7090

（受付時間：委託会社の営業日の9：30～17：00）

ホームページ：<https://www.money-design.com/>



東京都中央区新川1丁目17番21号

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分 込 配 金	期 騰 落	中 率		
(設定日) 2021年10月29日	円 10,000	円 —		% —	% —	百万円 1
1期(2022年1月31日)	9,749	0	△ 2.5	99.6	0.974908	
2期(2023年1月31日)	10,096	0	3.6	99.4	25	
3期(2024年1月31日)	12,437	0	23.2	98.5	109	
4期(2025年1月31日)	14,440	0	16.1	98.0	261	
5期(2026年2月2日)	16,540	0	14.5	97.6	441	

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2025年1月31日	円 14,440		% —	% 98.0
2月末	13,946	△ 3.4	97.6	
3月末	13,793	△ 4.5	97.8	
4月末	13,233	△ 8.4	97.9	
5月末	13,718	△ 5.0	98.2	
6月末	14,157	△ 2.0	98.1	
7月末	14,750	2.1	97.6	
8月末	14,795	2.5	98.0	
9月末	15,266	5.7	97.6	
10月末	15,945	10.4	98.3	
11月末	16,287	12.8	97.6	
12月末	16,429	13.8	97.8	
2026年1月末	16,487	14.2	97.6	
(期 末) 2026年2月2日	16,540	14.5	97.6	

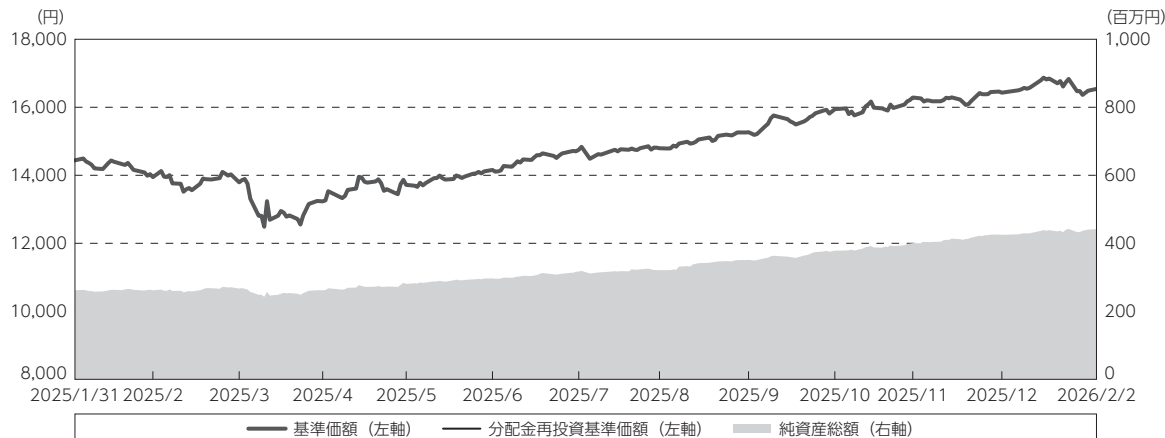
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2025年2月1日～2026年2月2日)

期中の基準価額等の推移



期 首：14,440円

期 末：16,540円(既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 14.5%(分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2025年1月31日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示していません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、+14.5%となりました。

当ファンドは、「THEO グロース・マザーファンド(世界の株式中心)」受益証券、「THEO インカム・マザーファンド(世界の債券中心)」受益証券、および「THEO リアルアセット・マザーファンド(世界の実物資産中心)」受益証券を組み入れることによりファンド・オブ・ファンズ方式での運用を行っております。

当期は「THEO グロース・マザーファンド(世界の株式中心)」受益証券の基準価額が+19.9%、「THEO インカム・マザーファンド(世界の債券中心)」受益証券の基準価額が+6.7%、「THEO リアルアセット・マザーファンド(世界の実物資産中心)」受益証券の基準価額が+22.4%となり、いずれのマザーファンドも当ファンドに対しプラス寄与となりました。

また、当ファンドに組み入れている各マザーファンドは為替ヘッジを行っていないため、為替相場の変動が基準価額に反映されます。当期の為替相場は日本円に対して米ドル高となったため、組み入れ対象のマザーファンドの基準価額にプラス寄与しました。

投資環境

当期においては、トランプ政権による関税政策が金融市場の動向に大きな影響を与えました。また、ウクライナや中東などにおける地政学リスクの動向なども資産価格の変動要因となりました。このような市場環境のもと、株式市場はトランプ政権による関税政策により世界的に株価が下落する局面もありましたが、好調な米国企業の決算や欧州の景気回復、さらには高市政権への期待感などから上昇しました。債券市場は、関税政策の影響やFRB（米連邦準備制度理事会）による利下げ期待から米金利は低下基調で推移しました。一方で、欧州では国防費増大やドイツの財政拡張、ECB（欧州中央銀行）による利下げサイクルの終了観測などを受けて金利は上昇基調となりました。日本においても、日銀による利上げ観測や積極財政を掲げる高市政権による財政悪化懸念などから国内金利は上昇基調となりました。実物資産では、世界不動産、インフラ関連株式が堅調に推移しました。貴金属は期末に急落したものの、通期ではリスク回避的な資金の流入などもあり大きく上昇しました。エネルギー関連株式は、産油国の供給過剰懸念から軟調な場面もありましたが、地政学リスクの高まりや米国の寒波による天然ガス価格の上昇などにより、通期では上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、「THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）」受益証券、「THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）」受益証券、および「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）」受益証券を組み入れることによりファンド・オブ・ファンズ方式での運用を行っております。

THEO グロース・マザーファンドでは、世界各国の企業の成長性を享受すること、THEO インカム・マザーファンドでは、世界各国の債券等の金利水準に着目し、安定した収益を確保すること、また、THEO リアルアセット・マザーファンドでは、世界の实物資産への投資を通じ資産価値を保全することを目的としております。当ファンドにおいては、これら3つのマザーファンドに、資産形成層の嗜好分析に基づいた資産配分で分散投資することで投資信託財産の長期的な成長を目指します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第5期
	2025年2月1日～ 2026年2月2日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,540

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

引き続き、「THEO グロース・マザーファンド(世界の株式中心)」受益証券、「THEO インカム・マザーファンド(世界の債券中心)」受益証券、および「THEO リアルアセット・マザーファンド(世界の実物資産中心)」受益証券への投資を通じ、実質的に世界のETFに投資することで、下落リスクを抑えつつ中長期的に安定したリターンの獲得を目指します。定期的に評価基準に基づいて組み入れ比率を調整してまいります。

○ 1万口当たりの費用明細

(2025年2月1日～2026年2月2日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	81	0.547	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(39)	(0.263)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(39)	(0.263)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.042	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(6)	(0.042)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	20	0.132	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(3)	(0.021)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(5)	(0.031)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(12)	(0.080)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	107	0.721	
期中の平均基準価額は、14,865円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

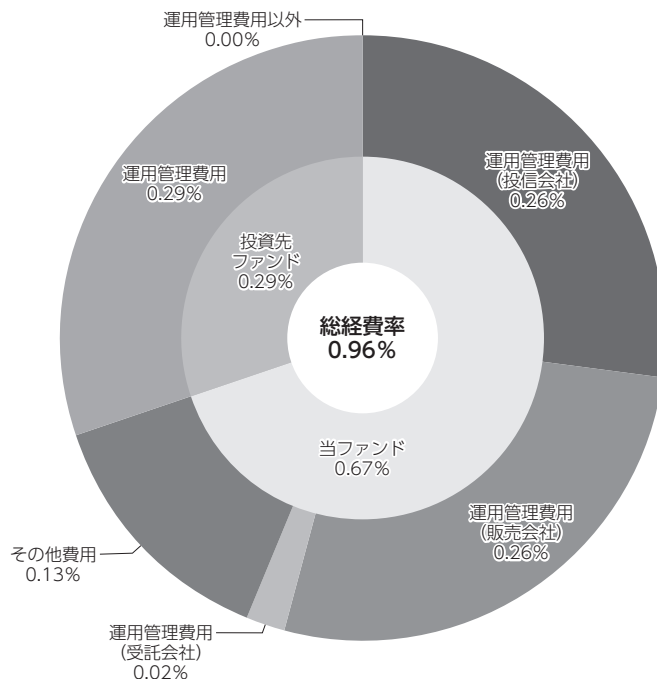
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.96%です。



(単位：%)

総経費率(①+②+③)	0.96
①当ファンドの費用の比率	0.67
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.29
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年2月1日～2026年2月2日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
THEO グロース・マザーファンド (世界の株式中心)	千口 38,635	千円 108,890	千口 17,096	千円 47,712
THEO インカム・マザーファンド (世界の債券中心)	64,586	102,097	30,457	49,130
THEO リアルアセット・マザーファンド (世界の実物資産中心)	7,161	14,916	1,844	3,779

○利害関係人との取引状況等

(2025年2月1日～2026年2月2日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2025年2月1日～2026年2月2日)

設定時 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	当期末残高 (元本)	取 引 理 由
百万円 1	百万円 —	百万円 —	百万円 1	投資信託の当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2026年2月2日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期	末
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
THEO グロース・マザーファンド (世界の株式中心)	53,856	75,396	237,761
THEO インカム・マザーファンド (世界の債券中心)	58,433	92,562	154,071
THEO リアルアセット・マザーファンド (世界の実物資産中心)	14,329	19,647	48,082

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2026年2月2日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
THEO グロース・マザーファンド (世界の株式中心)	237,761	53.7
THEO インカム・マザーファンド (世界の債券中心)	154,071	34.8
THEO リアルアセット・マザーファンド (世界の実物資産中心)	48,082	10.9
コール・ローン等、その他	3,161	0.6
投資信託財産総額	443,075	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) THEO グロース・マザーファンド (世界の株式中心) において、当期末における外貨建純資産 (16,359,366千円) の投資信託財産総額 (16,746,795千円) に対する比率は97.7%です。

(注) THEO インカム・マザーファンド (世界の債券中心) において、当期末における外貨建純資産 (4,693,344千円) の投資信託財産総額 (4,776,026千円) に対する比率は98.3%です。

(注) THEO リアルアセット・マザーファンド (世界の実物資産中心) において、当期末における外貨建純資産 (970,634千円) の投資信託財産総額 (982,390千円) に対する比率は98.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=155.29円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年2月2日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	443,075,915
コール・ローン等	3,044,426
THEO グロース・マザーファンド (世界の株式中心) (評価額)	237,761,465
THEO インカム・マザーファンド (世界の債券中心) (評価額)	154,071,031
THEO リアルアセット・マザーファンド (世界の实物資産中心) (評価額)	48,082,538
未収入金	116,405
未取利息	50
(B) 負債	1,456,878
未払解約金	200,953
未払信託報酬	1,044,879
その他未払費用	211,046
(C) 純資産総額(A - B)	441,619,037
元本	267,000,248
次期繰越損益金	174,618,789
(D) 受益権総口数	267,000,248口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,540円

(注) 当ファンドの期首元本額は181,285,409円、期中追加設定元本額は107,329,743円、期中一部解約元本額は21,614,904円です。

(注) 1口当たり純資産額は1.6540円です。

○損益の状況 (2025年2月1日～2026年2月2日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,805
受取利息	2,805
(B) 有価証券売買損益	53,150,490
売買益	54,191,234
売買損	△ 1,040,744
(C) 信託報酬等	△ 2,147,259
(D) 当期損益金(A + B + C)	51,006,036
(E) 前期繰越損益金	31,711,057
(F) 追加信託差損益金	91,901,696
(配当等相当額)	(44,309,647)
(売買損益相当額)	(47,592,049)
(G) 計(D + E + F)	174,618,789
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G + H)	174,618,789
追加信託差損益金	91,901,696
(配当等相当額)	(44,727,940)
(売買損益相当額)	(47,173,756)
分配準備積立金	82,717,093

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(8,998,317円)、費用控除後の有価証券等損益額(42,007,719円)、信託約款に規定する収益調整金(91,901,696円)および分配準備積立金(31,711,057円)より分配対象収益は174,618,789円(1万口当たり6,540円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

○お知らせ

該当事項はございません。

THEO グロース・マザーファンド （世界の株式中心）

運用報告書

第9期（決算日 2026年2月2日）
（2025年2月1日～2026年2月2日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2017年3月1日）
運用方針	①主として世界の投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界中の企業の成長性を享受することを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。
主要運用対象	世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券（ETF）への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

 お金のデザイン

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 資 信 託 純 資 産	投 証 組 入 比 率	託 券 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率				
	円		%			%	百万円
5期(2022年1月31日)	15,692		15.7			99.6	3,237
6期(2023年1月31日)	16,545		5.4			99.4	4,547
7期(2024年1月31日)	21,524		30.1			98.2	7,635
8期(2025年1月31日)	26,295		22.2			98.1	11,453
9期(2026年2月2日)	31,535		19.9			97.6	16,746

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 証 組 入 比 率	託 券 率
		騰 落	率		
(期 首) 2025年1月31日	円		%		%
	26,295		—		98.1
2月末	25,016		△ 4.9		97.5
3月末	24,498		△ 6.8		97.9
4月末	23,529		△10.5		97.9
5月末	25,036		△ 4.8		98.4
6月末	26,138		△ 0.6		97.6
7月末	27,384		4.1		97.6
8月末	27,588		4.9		98.0
9月末	28,581		8.7		97.4
10月末	30,167		14.7		98.3
11月末	30,659		16.6		97.4
12月末	31,116		18.3		98.1
2026年1月末	31,419		19.5		97.7
(期 末) 2026年2月2日	31,535		19.9		97.6

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

（2025年2月1日～2026年2月2日）

期中の基準価額等の推移

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、+19.9%となりました。

当期は、トランプ大統領による関税政策により世界的に株価が下落する局面もありましたが、好調な米国企業の決算や欧州の景気回復、さらには高市政権への期待感などがプラス要因となりました。また、当ファンドは為替ヘッジを行っていないため為替相場の変動が基準価額に反映されますが、当期の為替相場は日本円に対して米ドル高となったため、基準価額にはプラスとなりました。尚、10月はAIアシストが発動し、インド株の目標比率を相対的に引き下げるなどの調整を行いました。

【基準価額の推移】



投資環境

世界の株式市場の指数であるMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）は+21.9%となりました。一方、米ドル円レートは+0.6%の米ドル高となりました。

2025年2月下旬から4月上旬にかけては、トランプ政権の関税政策に伴う貿易戦争への懸念から、世界的に株価は大きく下落しました。しかし、相互関税の緩和を受けて投資家心理が急速に改善し、4月中旬から5月にかけて大きく反発しました。6月から10月にかけては、主要市場が揃って上昇しました。米国株は、CPI（米消費者物価指数）上昇率の鈍化や好調な企業決算、利下げ期待を背景に堅調に推移しました。欧州株は、関税交渉の不透明感などから調整する局面もありましたが、景気回復への期待や米株高が追い風となり上昇しました。日本株も、日米関税合意や自民党の高市政権への期待感から上昇しました。11月から期末にかけて、米国株は、雇用情勢の減速や利下げ観測の後退、AI関連銘柄の過熱に対する警戒感が重しとなり、一進一退の展開となりました。日本株は、米国株の停滞などから上値の重い展開が続きましたが、1月には衆議院解散報道を受けて大きく上昇しました。一方で欧州株は、ECB（欧州中央銀行）による経済見通しの引き上げやウクライナ和平交渉の進展などが支えとなり、底堅い動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の株式へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界各国の企業の成長性を享受し、投資信託財産を成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

○今後の運用方針

引き続き、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の企業の成長を享受することを目指します。定期的に、評価基準に基づいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

○1万口当たりの費用明細

(2025年2月1日～2026年2月2日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 10 (10)	% 0.037 (0.037)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	3 (3)	0.012 (0.012)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	13	0.050	
期中の平均基準価額は、27,494円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2025年2月1日～2026年2月2日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外 国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	Invesco Nasdaq 100 ETF	928	198	34,188	7,197
	ISHARES MSCI BRAZIL ETF	124,197	3,955	104,621	2,617
	ISHARES MSCI PACIFIC EX JAPA	39,018	1,748	39,018	1,819
	ISHARES MSCI JAPAN ETF	12,196	906	43,455	3,026
	VANGUARD FTSE EMERGING MARKE	132,446	6,322	90,757	4,931
	VANGUARD FTSE PACIFIC ETF	—	—	49,507	3,551
	VANGUARD FTSE EUROPE ETF	94,478	6,816	9,840	779
	Vanguard Growth ETF	42,329	17,917	5,464	2,446
	VANGUARD VALUE ETF	38,277	6,753	14,269	2,522
WISDOMTREE INDIA EARNINGS	96,105	4,369	52,116	2,327	
小計	579,974	48,986	443,235	31,218	

(注) 金額は受け渡し代金。

○利害関係人との取引状況等

(2025年2月1日～2026年2月2日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年2月2日現在)

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		比 率	
	口 数	口 数	評 価 額			
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%	
Invesco Nasdaq 100 ETF	33,260	—	—	—	—	
ISHARES MSCI BRAZIL ETF	104,621	124,197	4,600	714,373	4.3	
ISHARES MSCI JAPAN ETF	55,445	24,186	2,073	321,950	1.9	
VANGUARD FTSE EMERGING MARKE	92,825	134,514	7,596	1,179,583	7.0	
VANGUARD FTSE PACIFIC ETF	49,507	—	—	—	—	
VANGUARD FTSE EUROPE ETF	125,303	209,941	18,369	2,852,652	17.0	
Vanguard Growth ETF	37,657	74,522	35,886	5,572,747	33.3	
VANGUARD VALUE ETF	135,388	159,396	31,839	4,944,332	29.5	
WISDOMTREE INDIA EARNINGS	65,652	109,641	4,909	762,431	4.6	
合 計	口 数 ・ 金 額	699,658	836,397	105,274	16,348,072	
	銘 柄 数 < 比 率 >	9	7	—	< 97.6% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2026年2月2日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 16,348,072	% 97.6
コール・ローン等、その他	398,723	2.4
投資信託財産総額	16,746,795	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（16,359,366千円）の投資信託財産総額（16,746,795千円）に対する比率は97.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=155.29円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年2月2日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	16,746,795,858
コール・ローン等	398,717,361
投資信託受益証券(評価額)	16,348,072,129
未収利息	6,368
(B) 負債	14,165
未払解約金	14,165
(C) 純資産総額(A-B)	16,746,781,693
元本	5,310,479,834
次期繰越損益金	11,436,301,859
(D) 受益権総口数	5,310,479,834口
1万口当たり基準価額(C/D)	31,535円

(注) 当ファンドの期首元本額は4,355,632,616円、期中追加設定元本額は1,112,978,771円、期中一部解約元本額は158,131,553円です。

(注) 2026年2月2日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・THEO グロース・A I ファンド（世界の株式中心） 4,126,432,873円
- ・おまかせ運用グロース・ファンド（世界の株式中心） 1,108,650,904円
- ・THEOベスト・バランス・ファンド 75,396,057円

(注) 1口当たり純資産額は3.1535円です。

○損益の状況 (2025年2月1日～2026年2月2日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	226,459,949
受取配当金	224,873,062
受取利息	1,586,887
(B) 有価証券売買損益	2,431,213,741
売買益	2,501,599,898
売買損	△ 70,386,157
(C) 保管費用等	△ 1,580,105
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,656,093,585
(E) 前期繰越損益金	7,097,393,034
(F) 追加信託差損益金	1,955,332,395
(G) 解約差損益金	△ 272,517,155
(H) 計(D+E+F+G)	11,436,301,859
次期繰越損益金(H)	11,436,301,859

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。

THEO インカム・マザーファンド （世界の債券中心）

運用報告書

第9期（決算日 2026年2月2日）
（2025年2月1日～2026年2月2日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2017年3月1日）
運用方針	①主として世界の投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界中の金利を享受することを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。
主要運用対象	世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券（ETF）への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

 お金のデザイン

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 資 信 託 純 資 産 額	投 証 組 入 比 率
		期 騰 落	中 率		
	円		%		%
5期(2022年1月31日)	11,977		7.1		99.7
6期(2023年1月31日)	12,130		1.3		99.4
7期(2024年1月31日)	14,286		17.8		98.7
8期(2025年1月31日)	15,599		9.2		98.0
9期(2026年2月2日)	16,645		6.7		98.2

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 証 組 入 比 率	信 託 純 資 産 額
		騰 落	率		
(期首) 2025年1月31日	円		%		%
	15,599		—		98.0
2月末	15,352		△1.6		98.1
3月末	15,325		△1.8		97.7
4月末	14,680		△5.9		97.8
5月末	14,716		△5.7		97.8
6月末	15,013		△3.8		98.6
7月末	15,528		△0.5		97.7
8月末	15,470		△0.8		98.2
9月末	15,814		1.4		97.9
10月末	16,424		5.3		98.2
11月末	16,810		7.8		97.8
12月末	16,803		7.7		97.6
2026年1月末	16,484		5.7		98.2
(期末) 2026年2月2日	16,645		6.7		98.2

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2025年2月1日～2026年2月2日)

期中の基準価額等の推移

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、+6.7%となりました。当ファンドでは為替ヘッジを行っていないことから、為替相場の変動が基準価額に反映されます。当期の為替相場は日本円に対して米ドル高となったため、基準価額にはプラスとなりました。また、ファンドで組み入れているETFの米ドルベースのリターンは、米ドル建て投資適格社債、米国住宅ローン担保証券などが主なプラスとなりました。

【基準価額の推移】



投資環境

世界の債券市場の指数であるブルームバーグ・グローバル総合指数（米ドルベース）は、+8.4%となりました。米ドル円レートは0.6%の円安・米ドル高となりました。

2025年2月から3月にかけて、米国ではトランプ政権による関税政策への警戒感や、景気先行き懸念から金利は低下しました。一方、欧州では域内の国防費増大やドイツの財政拡張などを受けて金利は上昇しました。日本でも、日銀の利上げ観測から国内金利は上昇しました。4月に入り、トランプ政権が相互関税を発動すると、米国や日本の金利は低下しました。欧州においても、ECB（欧州中央銀行）による利下げを受けて金利は低下しました。5月から11月にかけて、米国では雇用市場の軟化やFRB（米連邦準備制度理事会）による利下げ期待、さらに米地銀の信用不安に伴う安全資産への需要などを背景に、長期金利は低下基調で推移しました。一方、欧州ではECBによる利下げサイクルの終了観測やフランスの財政悪化懸念などが域内の長期金利の上昇要因となりました。日本では、日銀の利上げ観測や、積極財政を掲げる高市政権による財政悪化懸念などから、長期金利は上昇基調で推移しました。

12月以降は、FRBによる利下げペース鈍化への警戒感や日本の長期金利上昇などから、米国の長期金利は上昇しました。欧州では、ドイツの財政支出観測などを背景に域内の長期金利が上昇しました。日本では、日銀の利上げに加え、衆議院解散総選挙に向けて財政悪化への警戒感が一段と高まり、長期金利が上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の債券等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界各国の債券等の金利水準に着目し、安定した収益を確保することで、投資信託財産を着実に成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

○今後の運用方針

引き続き、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の高金利を享受することを目指します。定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、組み入れ比率を調整してまいります。

○1万口当たりの費用明細

(2025年2月1日～2026年2月2日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 7 (7)	% 0.045 (0.045)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	3 (3)	0.017 (0.017)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	10	0.062	
期中の平均基準価額は、15,693円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2025年2月1日～2026年2月2日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外 国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	ISHARES IBOXX INVESTMENT GRA	15,294	1,675	39,461	4,346
	ISHARES 20+ YEAR TREASURY BO	5,949	525	51,315	4,548
	ISHARES 7-10 YEAR TREASURY B	78,562	7,529	—	—
	ISHARES INTERNATIONAL TREASU	10,713	458	—	—
	ISHARES MBS ETF	13,025	1,224	670	62
	ISHARES 1-5Y INV GRADE CORP	46,850	2,460	1,231	64
	SPDR BLACKSTONE SENIOR LOAN ETF	17,963	741	1,375	56
	SPDR BLOOMBERG SHORT TERM HIGH	27,712	702	1,997	50
	VANGUARD SHORT-TERM TREASURY	11,302	662	54,732	3,210
VANGUARD INTERMEDIATE-TERM T	37,808	2,268	—	—	
小計	265,178	18,248	150,781	12,339	

(注) 金額は受け渡し代金。

○利害関係人との取引状況等

(2025年2月1日～2026年2月2日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年2月2日現在)

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		比 率	
	口 数	口 数	評 価 額			
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%	
ISHARES IBOXX INVESTMENT GRA	54,614	30,447	3,366	522,787	10.9	
ISHARES 20+ YEAR TREASURY BO	45,366	—	—	—	—	
ISHARES 7-10 YEAR TREASURY B	—	78,562	7,537	1,170,457	24.5	
ISHARES INTERNATIONAL TREASU	—	10,713	454	70,554	1.5	
ISHARES MBS ETF	51,429	63,784	6,103	947,811	19.8	
ISHARES 1-5Y INV GRADE CORP	25,339	70,958	3,768	585,222	12.3	
SPDR BLACKSTONE SENIOR LOAN ETF	56,988	73,576	3,013	467,993	9.8	
SPDR BLOOMBERG SHORT TERM HIGH	93,927	119,642	3,042	472,469	9.9	
VANGUARD SHORT-TERM TREASURY	54,603	11,173	657	102,125	2.1	
VANGUARD INTERMEDIATE-TERM T	—	37,808	2,264	351,685	7.4	
合 計	口 数 ・ 金 額	382,266	496,663	30,208	4,691,106	
	銘 柄 数 < 比 率 >	7	9	—	< 98.2% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2026年2月2日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 4,691,106	% 98.2
コール・ローン等、その他	84,920	1.8
投資信託財産総額	4,776,026	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（4,693,344千円）の投資信託財産総額（4,776,026千円）に対する比率は98.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=155.29円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2026年2月2日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,776,026,972
コール・ローン等	84,919,271
投資信託受益証券(評価額)	4,691,106,342
未収利息	1,359
(B) 負債	320,567
未払解約金	320,567
(C) 純資産総額(A－B)	4,775,706,405
元本	2,869,200,181
次期繰越損益金	1,906,506,224
(D) 受益権総口数	2,869,200,181口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,645円

(注) 当ファンドの期首元本額は2,418,277,928円、期中追加設定元本額は634,716,188円、期中一部解約元本額は183,793,935円です。

(注) 2026年2月2日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・THEO インカム・A1ファンド（世界の債券中心） 2,093,319,070円
- ・おまかせ運用インカム・ファンド（世界の債券中心） 683,318,160円
- ・THEOベスト・バランス・ファンド 92,562,951円

(注) 1口当たり純資産額は1.6645円です。

○損益の状況（2025年2月1日～2026年2月2日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	200,831,861
受取配当金	200,248,541
受取利息	583,320
(B) 有価証券売買損益	99,047,864
売買益	115,900,208
売買損	△ 16,852,344
(C) 保管費用等	△ 731,831
(D) 当期損益金(A+B+C)	299,147,894
(E) 前期繰越損益金	1,354,001,943
(F) 追加信託差損益金	357,126,153
(G) 解約差損益金	△ 103,769,766
(H) 計(D+E+F+G)	1,906,506,224
次期繰越損益金(H)	1,906,506,224

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。

THEO リアルアセット・マザーファンド （世界の実物資産中心）

運用報告書

第9期（決算日 2026年2月2日）
（2025年2月1日～2026年2月2日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2017年3月1日）
運用方針	①主として世界の投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界の 実物資産への投資と経済的に同様な効果を得る投資をすることを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあり ます。
主要運用対象	世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券（ETF）への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

 お金のデザイン

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 資 信 託 純 資 産 額	投 証 組 入 比 率
		期 騰 落	中 率		
	円		%		%
5期(2022年1月31日)	13,019		23.0		99.6
6期(2023年1月31日)	14,834		13.9		99.5
7期(2024年1月31日)	16,808		13.3		99.2
8期(2025年1月31日)	19,996		19.0		98.8
9期(2026年2月2日)	24,473		22.4		98.7

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 証 組 入 比 率	信 託 純 資 産 額
		騰 落	率		
(期 首) 2025年1月31日	円		%		%
	19,996		—		98.8
2月末	19,635		△ 1.8		97.6
3月末	19,869		△ 0.6		98.2
4月末	19,109		△ 4.4		98.1
5月末	19,407		△ 2.9		98.5
6月末	19,709		△ 1.4		98.4
7月末	20,554		2.8		98.5
8月末	20,701		3.5		97.8
9月末	21,682		8.4		98.5
10月末	22,575		12.9		98.4
11月末	23,442		17.2		97.7
12月末	23,740		18.7		97.8
2026年1月末	24,946		24.8		98.8
(期 末) 2026年2月2日	24,473		22.4		98.7

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2025年2月1日～2026年2月2日)

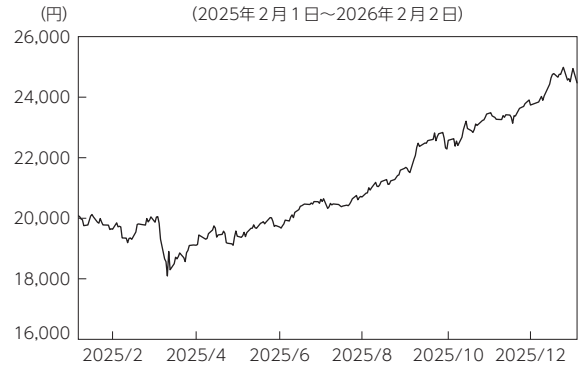
期中の基準価額等の推移

○基準価額の主な変動要因

当期、当ファンドの基準価額は、+22.4%となりました。

当ファンドでは為替ヘッジを行っていないことから、為替相場の変動が基準価額に反映されます。前期末に1ドル154円台で取引を終えた為替市場は、4月に一時1ドル140円を割り込む水準まで円高が進行しました。その後は円安基調へ転じ、期末にかけては一時159円台までドル高円安が進みましたが、日米当局による協調介入への警戒感から155円台で期を終えました。このことが基準価額にプラス寄与しました。ファンドで組み入れているETFの米ドルベースのリターンは、すべてプラスとなりました。為替の効果を考慮した基準価額への寄与度という点でも、すべてプラス寄与となっており、中でも金・銀のETFの寄与度が比較的大きくなりました。

【基準価額の推移】



投資環境

当期の世界株式市場および現物資産市場は、主要国の景気動向や日米の金融政策の行方に強く反応する展開となりました。また、中東情勢をはじめとする地政学リスクが引き続き意識されたほか、トランプ米政権による関税政策・政治動向も、市場を大きく動かす要因となりました。

不動産、インフラ関連株式の米ドルベースのリターンは、期初、トランプ米大統領の関税政策への懸念や金利の不安定な動きから、軟調な推移となりました。しかし、期中盤からFRB（米連邦準備制度理事会）による利下げ実施を受け、金利低下を好感する形で持ち直しました。期末には、米政権が打ち出した住宅購入規制への懸念などで上値が重くなる場面もありましたが、底堅い経済指標などが支えとなりました。

貴金属は、米国の利下げに伴う実質金利の低下により相対的な魅力が高まったほか、地政学リスクの高まりを背景に、金・銀ともに上昇基調を維持しました。特に銀やプラチナは、産業需要の高まりや代替資産として注目が集まりました。期末にかけては値動きの激しい展開が見られましたが、通期でプラスのリターンを確保しました。

エネルギー関連株式は、産油国の増産報道や供給過剰懸念から軟調な場面もありましたが、地政学リスクの高まりが価格を支えました。また、期終盤には米国の寒波による天然ガス価格の上昇もあり、期末にかけて株価は上昇しました。また、米国物価連動国債は通期でプラスのリターンとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の実物資産等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界の実物資産への投資を通じ、投資信託財産の資産価値を保全しつつ、着実に成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

○今後の運用方針

引き続き、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の実物資産への投資と経済的に同様な効果を得ることを目指します。定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

○1万口当たりの費用明細

(2025年2月1日～2026年2月2日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 10 (10)	% 0.046 (0.046)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	16 (16)	0.075 (0.075)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	26	0.122	
期中の平均基準価額は、21,181円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2025年2月1日～2026年2月2日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外 国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	ISHARES GOLD TRUST	10,370	658	14,555	1,031
	ISHARES TIPS BOND ETF	12,281	1,350	6,742	737
	ISHARES 1-3 YEAR TREASURY BO	6,429	531	5,595	460
	ISHARES US REAL ESTATE ETF	6,044	574	829	79
	ISHARES GLOBAL CLEAN ENERGY	1,686	22	4,063	55
	ISHARES GLOBAL INFRASTRUCTUR	2,765	161	791	46
	ISHARES SILVER TRUST	1,805	60	4,625	204
	SPDR DJ INTERNATIONAL REAL E	698	18	1,325	36
	ENERGY SELECT SECTOR SPDR	1,166 (3,064)	91 (-)	838	73
小計	43,244 (3,064)	3,472 (-)	39,363	2,726	

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) () 内は分割・償還による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2025年2月1日～2026年2月2日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年2月2日現在)

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		比 率	
	口 数	口 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%	
ISHARES GOLD TRUST	12,861	8,676	791	122,873	12.5	
ISHARES TIPS BOND ETF	10,874	16,413	1,813	281,588	28.7	
ISHARES 1-3 YEAR TREASURY BO	2,727	3,561	295	45,892	4.7	
ISHARES US REAL ESTATE ETF	14,027	19,242	1,851	287,484	29.3	
ISHARES GLOBAL CLEAN ENERGY	9,497	7,120	129	20,067	2.0	
ISHARES GLOBAL INFRASTRUCTUR	9,133	11,107	715	111,094	11.3	
ISHARES SILVER TRUST	5,925	3,105	234	36,375	3.7	
SPDR DJ INTERNATIONAL REAL E	3,771	3,144	91	14,212	1.4	
ENERGY SELECT SECTOR SPDR	2,872	6,264	319	49,658	5.1	
合 計	口 数 ・ 金 額	71,687	78,632	6,241	969,247	
	銘柄 数 < 比 率 >	9	9	—	< 98.7% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2026年2月2日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 969,247	% 98.7
コール・ローン等、その他	13,143	1.3
投資信託財産総額	982,390	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（970,634千円）の投資信託財産総額（982,390千円）に対する比率は98.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=155.29円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2026年2月2日現在）

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	982,390,324	
コール・ローン等	13,142,975	
投資信託受益証券(評価額)	969,247,156	
未収利息	193	
(B) 負債	102,240	
未払解約金	102,240	
(C) 純資産総額(A-B)	982,288,084	
元本	401,373,081	
次期繰越損益金	580,915,003	
(D) 受益権総口数	401,373,081口	
1万口当たり基準価額(C/D)	24,473円	

(注) 当ファンドの期首元本額は354,300,828円、期中追加設定元本額は75,917,224円、期中一部解約元本額は28,844,971円です。

(注) 2026年2月2日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・おまかせ運用インフレヘッジ・ファンド(世界の実物資産中心) 381,725,903円
- ・THEOベスト・バランス・ファンド 19,647,178円

(注) 1口当たり純資産額は2,4473円です。

○損益の状況（2025年2月1日～2026年2月2日）

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	18,416,957	
受取配当金	18,317,900	
受取利息	99,057	
(B) 有価証券売買損益	158,028,892	
売買益	158,648,277	
売買損	△ 619,385	
(C) 保管費用等	△ 622,477	
(D) 当期損益金(A+B+C)	175,823,372	
(E) 前期繰越損益金	354,154,067	
(F) 追加信託差損益金	84,109,086	
(G) 解約差損益金	△ 33,171,522	
(H) 計(D+E+F+G)	580,915,003	
次期繰越損益金(H)	580,915,003	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。